

更生保護女性会会長賞

堺市立 宮山台中学校 二年

隅田 美蘭

明日笑顔でいるために

私は、「消えたい」と思ったことがあります。みなさんは、そんな思いになったことがありますか。

私の家族仲は決して良好ではなく、年に二、三回大きな揉め事が生じます。私は大抵それを見ているだけですが、家の中に重い空気が続く二週間程の間、自分の居場所が無いように思えてきて、とても恐いです。友達関係では、小学五年生のときに一番の味方であった親友が引越し、ひとりぼっちになりました。その後、「いじられキャラ」になってなんとかぼっちは抜け出せましたが、「いじられる」だけの友達関係がだんだんしんどくなってきて、毎日の学校も家に帰るのも、どちらも嫌で嫌で仕方ありませんでした。

あのとくもし、あのまま『自分の中だけで抱え込んで、精神的に不安定な状態が続いていたら』どうなっていただろう。このころの私は、急に大声を出したり暴れ出したり、自分でも意味の分からない行動をとってしまうことがよくありました。本当に、自分でも分からないんです。ただ、私は抱え込まずに済みました。

小学校の保健の先生がいてくれたからです。教室にどうしても行きたくなくて、仮病を使って保健室へ行ったことがあります。初めは体調について聞かれて、それに答えているだけでしたが、話の中で私がこぼす愚知や悩みに先生は真剣に向き合ってくれました。一言一言に反応してくれる、そのことがなんだかとても新鮮で、嬉しくて。私が泣いてしまったとき、「泣いていいよ」と言ってくれました。その日はたくさん泣きました。でも、すごく気持ちが軽くなりました。もし、あのとく保健の先生に寄り添ってもらえていなかったら、自分でも分からない行動の中で、誰かを傷つけてしまうことがあったかもしれません。でも私はその日の翌日から、保健室通いだとしても学校へ毎日行くことが、それほど苦に感じなくなりました。

でもあのとく、もしあのまま自分の中だけで抱え込んでいたら。相談するまでの一歩が踏み出せない人は、たくさんいるのではないかと思います。私は、お話しするってなると結構話せてしまう方です。それでも、「相談したい」と言うことや合図を出すことは、

怖くて難しいです。それは、話しても聞いてもらえなかった経験や、相談すれば相手を困らせてしまうのではという不安があるからです。「話したい」とは思っても、相談することに対してのデメリットばかりが出てきて、結局言葉を飲み込んで我慢してしまったりするのです。

私には、自分に優しく寄り添ってくれる人が近くにいてくれませんでした。でも、そんな人と出会えない人もたくさんいるのではないのでしょうか。もしも苦しみや辛さを抱えている人が、誰かに相談することができて、ちゃんと話を聞いてもらえて、「泣きたい」を我慢しなくていい。そんな「社会」だったら、誰もがもう少し生きやすくなるのではと考えます。

この世の中には、罪を犯してしまって苦しむ人がたくさんいます。ですがもしさきほど言ったような「社会」だったら、罪を犯してしまいう前に、罪を犯すきっかけ自体を防ぐことが出来ていたかもしれません。自分が生きる意味が分からないと思ひ悩むことや相談相手がいないこと、全ての人間が怖いと感じ信じられなくなってしまうたりすることは、自分自身をすごく追い込んでしまうことにつながるのではないのでしょうか。そしてそこから自殺や犯罪、非行につながってしまうのではないのでしょうか。そんなことを私は、保健の先生に相談したあと考えました。

だから、テレビに映る加害者を見て思っしてほしいのです。「辛か

ったのかな。」と。簡単なことではありません。私が被害者だったら、その事件をおこした人に対して思いやる事などできるはずがありません。ですがそれでも、ほんの少しだけ。許さなくていいから、加害者になってしまった人の気持ちも分かりたいという心を持ってほしいのです。そこからやっと、みんなが笑顔につながる「社会」に少し、近づけるのではないのでしょうか。

悩みや相談を、目を見て頷くだけでいいから聞くこと、大事な人にちゃんと、「あなたが大切」だと伝えること。これらのことで救われる人、たくさんいます。それで私は、救われました。

悩みはどんな人にだってあります。だからそこで話を聞いてくれる人がいるかないかで、その人の「これから」が変わります。誰にも言えないまま辛い状況が続き、私を感じたような、自分の居場所が無い、無性に暴れたい、消えたい。そんな思いになる人が少しでも少なくなれば、きっと悲しい事件やニュースも減っていくと、私は思います。

